

平成30年度 SMAP研修会 2018

「しが『心の冒険』プログラム」SMAP (Shiga Mental Adventure Program) は、遊びや冒険的な活動をとおして、自分のふりかえりやグループで話し合うことで仲間づくりを行う学習プログラムです。この研修は、「人を信頼するところ」を育て、学校や各種事業等で子ども同士、あるいは大人同士の人間関係づくりを効果的に支援できるスキルを身につけることを目的として実施しています。

【日時・会場】

初級コース

◇彦根会場（彦根市荒神山自然の家）

平成30年7月31日（火）9:30～16:30

◇野洲会場（野洲市コミュニティセンターみかみ）

平成30年8月6日（月）9:30～16:30



【参加者】

学校教員および子どもの体験活動を行う行政・団体職員等 18名

【活動の様子】

SMAPの活動において、常に立ち返る、大切な4つの約束事を、講師が提示しました。

1. 楽しむ
2. 一生懸命
3. 心も体も安全に
4. 公平に(平等に)



※SMAPの活動に参加する上で、もう1つ大切なことは

「チャレンジバイ・チョイス」（挑戦レベルとその方法は、その人自身が決定します。）です。

午前中は、参加者の身体や心をほぐし、緊張感を和らげるためにアイスブレイクを中心に行いました。心のハードルを下げ、安心感を育むためのアクティビティから、思いや考えを伝え合うアクティビティへと段階を追って、活動を進めていきます。



(キャッチさんキャッチ)



(ネームストレッチ)



(パイプライン)

午後からは、みんなで課題に挑戦するアクティビティを中心に行いました。

また、体験活動後の「ふり返り」の方法や子どもへの言葉がけについて考えていきました。



(あやとり)



(ウォーハーピージュ)



(TP シャッフル)

午後の研修の最初に行った「Being(ビーイング)」は、安心できる集団になるために自分たちで約束を決めていく活動です。

お互いの思いをしっかりと受け止め、みんなでまとめていくことの大切さを再認識し、互いの信頼関係を築いていくことができました。



今回の研修会をとおして、人間関係づくりを効果的に支援できるスキルの習得はもとより、参加者同士の“絆”も深まりました。

参加者アンケートの結果と感想（一部抜粋）については、別添で掲載しておりますので、ご覧ください。

【その他のアクティビティ（一例）】



(ヘリウムフープ)



(巨人・妖精・魔法使い)



(オールアボード)

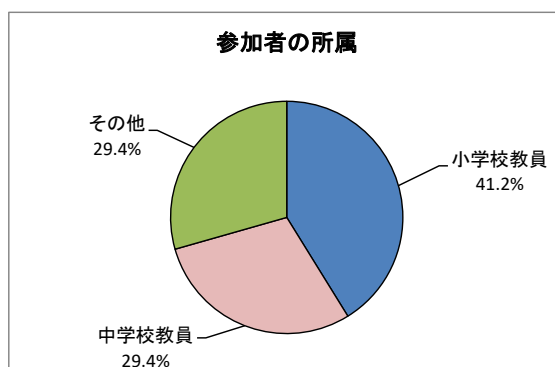
SMAP研修会2018 アンケート結果

(アンケート回答数 17名)

問1 所属をお答えください。

	所 属	人数	割合
1	小学校教員	7	41.2%
2	中学校教員	5	29.4%
3	その他	5	29.4%
合計		17	100%

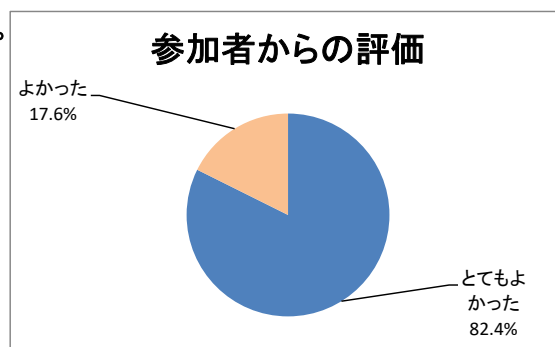
※その他: 学校事務職員、一般行政職、
まちづくりセンター、放課後児童クラブ
体験活動施設



問2 本日のSMAP研修会はいかがでしたか。

	評 価	人数	割合
1	とてもよかった	14	82.4%
2	よかった	3	17.6%
3	あまりよくなかった	0	0.0%
4	よくなかった	0	0.0%
合計		17	100%

※理由は次頁に一部記載しています。



問3 本日のSMAP研修会で学んだことをどのように生かしますか。

※次頁に一部記載しています。

問4 本日のプログラムの中で日頃の取組にぜひ取り入れてみたいと思ったプログラムはどれですか。アクティビティ名をお答えください。(複数回答可)

- ・ウォーハーピージュ (5) ・ラインナップ(4) ・ブラックホール(4) ・インパルス(1)
- ・ブラインドシェイプ(2) ・じゃんけん大嵐(1) ・Being(1) ・TPシャッフル(1)
- ・となりのとなり(3) ・キャッチさんキャッチ(3) ・あやとり(1) ・セブンイレブン(6)
- ・出会いの輪(5) ・ひょうたんぶらぶら(2) ・ウエスタンチャレンジ(3)
- ・人間知恵の輪(1) ・オールアボード(1) ・ペーパータグ(6) ・ネームトス(4)
- ・ネームジャングル(1) ・ネームストレッチ(3) ・しるらないカード(1)

問5 その他(お気づきの点がございましたら御自由にお書きください。)(一部抜粋)

1日ではなく、2日間で行ってほしい。

PAの種類をたくさん知ることができたのですが、どれとどれの組み合わせが効果的か、話し合いでは、教師側は何を求めているのか、もう少し詳しく知りたいと思いました。

多くの準備をしていただきありがとうございました。丁寧にわかりやすく、熱意を持って伝えていただき感謝です。熱意と技術両方が備わっていて、人に伝えることを学びました。

問2 理由(一部抜粋)

◎ とてもよかった ○ よかった △ あまりよくなかった × よくなかった

◎	1日を通して、知らなかった人とも最後の方には信頼できる仲間として過ごすことができました！
○	同じアクティビティでも、集団が変わればやり方や考え方が変わるということがわかった。
○	1人での参加だったので、初めはとても不安でしたが、様々な活動を通してたくさんの人と関わることができました。最後には、心をオープンにすることができました。
◎	最初はSMAPが何なのか全く分からない状態で研修会に参加しましたが、実際にアクティビティを体験することで意義や価値観の変化を実感することができました。また、「今、ここ」の瞬間の気持ちの大切さを感じました。
◎	レクレーションとはちがい構造化された中身で情動が変化していくことが、活動しながらよくわかった。

問3 本日のSMAP研修で学んだことをどのように生かしますか。(一部抜粋)

2学期から学級の児童の実態を観て、できるものから挑戦してみたいです。他の若手の先生方にも今日の学びを伝えます。
地域の子ども会で活用してみたい。さらに深く学んでみたい。 学級の中で、仲間とうまく関わることができない子がいるので、集団づくりに役立てたい。
自分が運営するクラスの生徒達に今回私が感じる事ができたことを感じてもらいたいと思います。 4つの約束は学級を育てていくためにも大切なことであると思います。
目標を持って活動に取り組み、ふりかえりをもつ。初めは上手いかわなくても、必ず何か得るものがある。
毎年、児童クラブでの児童の関係づくりに活かしています。
キャンプなど子どもたちの参加する事業において、子どもたちの緊張をほぐし、良い体験をしてもらえるよう活用していきたいです。